

災害補償実務担当者 必携

平成30年5月下旬発行

平成30年版 国家公務員 災害補償実務のてびき

B5判・横組・約450頁 定価：本体5 000円 + 税

ISBN978-4-908252-22-8

この本は、一般職の国家公務員の災害補償制度を容易に理解していただくことを目的とし、平成24年6月発行の「平成24年版 災害補償実務のてびき」に最新情報を加え、内容を充実しました。

本書の特色

- 「制度関係」及び「認定関係」に大別し、数多くの事例、図解を用いて分かやすく解説するとともに、根拠条文を明示し、災害補償実務担当者の手引書として、また初めて災害補償の実務に携わる方にも研修教材として役立つものとなっています。
- 「心・血管疾患及び脳血管疾患の簡易認定調査票」等の記入要領等について」掲載。
内容：「負傷に起因する反射性交感神経性ジストロフィー、カウザルギー」・「腰痛」・「石綿を吸入することにより発生する疾病」・「心・血管疾患及び脳血管疾患」・「精神疾患等」

(一財) 公務人材開発協会 人事行政研究所 編集・発行

〒102-0082 東京都千代田区一番町19番地 TEL03-3239-8031

(平成27年10月1日、日本人事行政研究所は、公務人材開発協会と合併しました。)

申込書 平成30年版

国家公務員

災害補償実務のてびき

定価：本体5 000円 + 税

ISBN978-4-908252-22-8

(一財) 公務人材開発協会 人事行政研究所 発行

部

お申込み・お問合せは、
全国の政府刊行物センター
全国の官報販売所
全国の書店

取扱い店名

住所〒

貴社名

部署名

担当者名 電話

平成30年版

国家公務員

災害補償実務のてびき

主要目次

第1部 制度関係

- 第1章 国家公務員災害補償制度の概要
- 第2章 災害発生から認定・通知までの事務
- 第3章 平均給与額とは
- 第4章 療養中に行う補償及び福祉事業
- 第5章 傷病が治った場合（治癒の認定）
- 第6章 治癒後障害が残った場合に行う補償及び福祉事業
〔障害補償、障害特別給付金、障害特別支給金、障害特別援護金、介護補償〕
- 第7章 職員が死亡した場合に行う補償及び福祉事業
〔遺族補償、遺族特別給付金、遺族特別支給金、遺族特別援護金、葬祭補償〕
- 第8章 年金事務
- 第9章 年金を前払いで受けたい場合
〔障害補償年金前払一時金、遺族補償年金前払一時金〕
- 第10章 年金受給者が早期に死亡または失権した場合に支払われる一時金
〔障害補償年金差額一時金、障害差額特別給付金、遺族補償一時金、遺族特別給付金〕
- 第11章 学費、保育費の援護を受けたい場合に行う福祉事業
〔奨学援護金、就労保育援護金〕
- 第12章 在宅介護の援護を受けたい場合に行う福祉事業〔ホームヘルプサービス〕
- 第13章 その他の福祉事業
- 第14章 補償又は福祉事業を受けべき者が支給を受けずに死亡した場合に行う補償及び福祉事業
- 第15章 特別公務災害、補償制限、時効等
- 第16章 損害賠償との調整
- 第17章 人事院の承認、人事院への報告等が必要な場合
- 第18章 不服申立て

第2部 認定関係

- 第1章 公務災害の認定
- 第2章 通勤災害の認定
- 第3章 傷病等級の決定
- 第4章 障害等級の決定

参考資料

- 1 平均給与額の改定に用いるべき率及び平均給与額の計算について用いるべき率早見表
- 2 年金たる補償に係る平均給与額の最低限度額及び最高限度額早見表
- 3 ホームヘルプ等利用料金基準表
- 4 平均給与額の最低保障額早見表
- 5 障害特別援護金の支給額
- 6 介護補償の支給額
- 7 遺族補償年金を受ける権利を有する者に対する遺族特別援護金の支給額
- 8 遺族補償一時金を受ける権利を有する者に対する遺族特別援護金の支給額
- 9 葬祭補償の額（規則16-0第31条第1項に規定する定額）
- 10 奨学援護金の額
- 11 就労保育援護金の額
- 12 「心・血管疾患及び脳血管疾患の簡易認定調査票」等の記入要領等について